

登録団体概要書

団体名	こまたす推進プロジェクト
種類	<input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人 <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> その他()
主な活動分野	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉 <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> その他の社会貢献に係る分野()
団体の目的	こまたす推進に関する活動(事業)を行うことにより、心のユニバーサルデザインを広めること。
団体の活動	<p><団体の活動概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 心のユニバーサルデザインを広めるため、「ユニバーサルデザインとは何か」「バリアフリーとは何か」を発信し、共生社会を目指して事業を実施。 (1) 「こまたす」、つまり「困ったらたすけるにいい」の思いやり、助け合いの活動・協賛活動事業。 (2) 障がい者スポーツの普及促進及びユニバーサルデザイン型の車いすソフトボールの運営推進事業 (3) こまたすマークのPR活動、ヘルプマークの普及及び募金活動 (4) 地域における各種団体・企業との連絡連携 など <p>・平成30年4月1日「はままつ心のバリアフリー推進プロジェクト」(平成30年度みんなのはままつ創造プロジェクト補助対象事業(創造都市・文化振興課))の実施団体として設立。 令和2年5月3日「こまたす推進プロジェクト」として団体名称を変更し、活動を継続。</p> <p><主な活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 逆ヘルプマーク「こまたすマーク」の推進:こまたすグッズ(主に缶バッジ@100円)の販売等 車椅子ソフトボールチーム「静岡 REX」の設立・運営(R1~) 心のバリアフリー推進情報誌「E♡Life(イーライフ)」の発行(R1.2~全3回) シトラスリボンプロジェクトへの賛同(R2):シトラスリボン缶バッジの製造販売、募金等 「どこゆく家康 浜松ビデオマップ」の作成(R4)学生・外国人・車椅子ユーザーなどの様々な視点から見るUDガイドマップを制作、配架。(令和4年度UD・男女共同参画提案事業) ウクライナ人道支援チャリティコンサート(R4.5, R4.7) ラジオ番組 FMHaro!76.1MHz「Enjoy!こまたすライフ」(R3.5~R4.4/R5.5~放送中)
	<p>特に力を入れている事業について</p> <p><実施事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 車椅子ソフトボールチーム「静岡 REX」の運営、体験会の実施 ラジオ番組 FMHaro!76.1MHz「Enjoy!こまたすライフ」、YouTube等での情報発信:情報のバリアをなくすため、ラジオ番組やYouTubeにより、ユニバーサルデザインとは何か、バリアフリーとは何かを発信する。 <p><認識している地域課題、実施事業の必要性></p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者手帳を所持している・いないに関わらず、手助けや支援を必要とする人が多い中、手助けを求める声を自発的に上げることが難しいのが現実。また、手助けしてくれる人(手助けできる人)を見分けることが難しいという現実もある。 一般的に普及しているものとしてヘルプマークがあるが、手助けする(できる)人を周知する「逆ヘルプマークの認知を高めるとともに、どんな人でも自信を持って「困ったら助けていこう」という社会風土を起こし、社会の課題を解決する一手となる。 <p><実施事業の目標、成果の確認方法></p> <ul style="list-style-type: none"> こまたすマークの普及・啓発: <ul style="list-style-type: none"> ① 県西部地域から全県域に広げる。 ② ご当地(方言)のキャッチフレーズを変えながら、困っている人を見かけた際に声をかける、手を差し伸べる、思いやりの県民を目指す。 ③ 静岡県のハート分野の活動指標 2026年度の50%を超える成果を出していく。 静岡REX: <ul style="list-style-type: none"> ① 車椅子ソフトボールの魅力や価値を伝え、人々や社会をつなぐ。 ② “誰もが個性を活かし力を発揮できる” 共生社会の実現。 ③ 静岡県代表として、協会主催の大会に参加。 登録会員を、来年度末日までに100名にしたい。

<p>団体の活動</p>	<p><今後の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は、周知活動及び会員を増やすことを重点に置きつつ、毎月一回切り口を変えて、活動をしていく。 ①第6次ふじのくにユニバーサルデザイン推進計画における、ハート分野の活動指標のアップを目指し、担当局（静岡県くらし・環境部県民生活局県民生活課）と連携し、推進していく。 ②南海トラフ大地震に備え、外国人、障がい者等との共助を考えるフォーラムを開催。 ③ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム認証事業に2年間取り組んだ経験をもとに、今後も会員により車椅子ソフトボールを推進していく。 ・令和8年度は、全日本車椅子ソフトボール選手権大会の開催地として静岡県が候補にあがっているため今年度は、静岡REXを県対抗レベルまでパワーアップさせる。
<p>他組織との協働等の実績</p>	<p><他組織から受けた助成金、物品等の支援の実績> ※直近2か年度分を記載</p> <p>なし</p> <p>※ラジオ番組の費用について、制作費用は㈱リブテックが全額負担、ゲスト出演料や交流費用は当団体が負担している。</p> <p><他のNPO・市民活動団体、企業、行政等との協働実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市: 浜松市市民協働センター ボラクエ(ボランティアクエスト)、SDGsプラットフォーム会員 創造都市・文化振興課(補助金)、UD・男女共同参画課(受託) ・常葉大学 浜松キャンパス 地域貢献センター ・浜松学芸中・高等学校 ボランティア部 ・日本車椅子ソフトボール協会 ・ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム(会員) ・NECプラットフォームズ株式会社 女子ソフトボールレッドファルコンズ
<p>情報公開について</p>	<p><活動内容の報告方向></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS、紙媒体、ラジオ番組 <p><寄附を受けた場合、寄附者への活動報告の方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付金名簿を作成し、寄附者には優先的に情報発信をする。SNSを有効活用する。
<p>寄附金募集方法・計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の公式ホームページ、SNS、ラジオ番組等で呼びかけ：SNS等で毎月の活動をPRし、個人及び法人会員を募集するとともに、寄附金の募集方法やその対象等を記載し、寄付を募る。 ・会員・寄附の募集案内(紙媒体)：配布先を限定し、ピンポイントで募集する。
<p>目標寄附額</p>	<p>10万円(1事業年度間)</p>
<p>寄附金でできること</p>	<p><寄附金の使途></p> <p>こまたすグッズ(缶バッジやステッカー、クリアファイル等)の作成。(公共施設、福祉事業団体、市内小・中学校、特別支援学校等へ配布。)のぼりの作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1万円の寄附で、こまたす缶バッジ 300個またはステッカー50枚もしくはクリアファイル 100枚を作成、配布可能。 ・10万円の寄附で、イベント開催に加え、新たなロゴマークを使用したマグネット200個またはのぼり 10個を作成可能。